

# みらいん

最終号

2015年  
3月



読者の皆さんから復興メッセージ

# あの日、今、そして未来へ



中野小学校付近(宮城野区中野) 2012年9月11日(上) 2015年1月11日(下)

## 終刊によせて

2011年11月の創刊準備号より皆様にご愛読いただきました、  
仙台発 震災復興地域かわら版「みらいん」は、  
今号をもって終刊となります。

今号に至るまで、たくさんの方々に取材する機会をいただきました。  
編集部スタッフにお話を聞かせてくれたすべての方、そして  
「みらいん」をお読みくださったすべての方に、  
この場をお借りして御礼申し上げます。

被災地はいまだに地震・津波の爪痕が残りますが、  
仙台市では住まいの再建を実現する方が増えてきています。  
どうぞ、被災され、困難な時期を乗り越えて今を生きる方々に  
心からの安らぎと、笑顔の溢れる生活が、1日も早く訪れますように。  
編集部一同、心からお祈り申し上げます。

「みらいん」編集部一同

### パネル展開催のお知らせ

「みらいん」は、2011年11月から2015年3月まで、仙台市内の被災された方々を対象に  
取材活動を続け、被災された方々の思いを伝え、コミュニティをつなぐ取り組みを続けて  
きました。終刊にあたり、これまでの活動を振り返るパネル展を開催いたします。

#### 仙台発 震災復興地域かわら版「みらいん」パネル展

日 時 2015年3月3日(火)～18日(水)のうち平日9:00～17:00  
会 場 仙台市役所1階ギャラリーホール(仙台市青葉区国分町3-7-1)  
入場無料

#### 第3回国連防災世界会議パブリック・フォーラム「市民協働と防災」テーマ館(一般公開) でもパネルを展示いたします。

日 時 3月14日(土)～17日(火) 9:00～22:00  
会 場 仙台市市民活動サポートセンター(仙台市青葉区一番町4-1-3)  
入場無料

#### 仙台発 震災復興 地域かわら版 みらいん【最終号】

2015年3月1日発行

発 行: 仙台市

企画・編集: 協同組合みやぎマルチメディア・マジック  
岡崎裕子/熱海奈穂子/網野武明/鉦鹿大輔/菊地明彦/齋藤孝之/佐藤有希/芳賀幸子/金子秀樹

印 刷: ハリウ コミュニケーションズ株式会社

協 力: 河北新報社

特別協力: 千田佐知子

お問い合わせ: 〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町2-12  
協同組合みやぎマルチメディア・マジック 「みらいん」編集部  
Tel.022-390-5755 Fax.022-390-5756 kawara@mmmm.or.jp

表紙: 創刊準備号(2011年11月)から表紙を飾ってくれた皆さん



慰霊塔付近(若林区荒浜) 2012年9月11日(上) 2015年1月11日(下)



### 次世代と地域のために 高橋美紀さん

仙台の中心部からも近くて、自然がいっぱいの若林区東六郷地区は、子育ての環境として最高だと思います。今の小学生が大人になる頃には、もっと素敵な地域として再生して欲しいですね。子どもたちと一緒に頑張るつもりです。



### 共に過ごせる時間を 大切に、大切に

左から高橋心陽ちゃん、陽香さん、真心くん

突然、愛する夫を津波で失う経験をして、「人は共に過ごす時間に限りがある」と痛烈に感じました。子どもたちには、「神様が平等に与えてくださる“一日は24時間”という時間を大切に、有意義に過ごそうね」と話しています。(陽香さん)

### 大家族で毎日を楽しむために 佐藤とよゑさん

気仙沼市から息子一家を頼って青葉区愛子へ。孫を含めて8人の大家族になりました。家庭を楽しむには、進んで人の集まる場所に出て自分自身も楽しく過ごさないとね。家族皆、ここで未永く元気に過ごしていきたいですね。



### 今後の豊漁を願ってるよ

左から鈴木忠寿さん、甥の一人くん、るみ子さん

仙台湾を漁場として赤貝漁をしています。安全第一で船を操業し、体に気を付けたいね。(忠寿さん) 笑いヨガに通うようになって、周りを受け入れることや感謝の気持ちが出てきたの。(るみ子さん) 高砂中学校でも野球を頑張りたい。(一人くん)



### 数えきれないほどの感謝を胸に

左から佐藤和子さん、心寧ちゃん、喜幸さん

震災から数えきれないほどの人に出会い、支えていただいたおかげで今の私たちがあると、心から感謝しています。心寧も元気に通学しています。辛い思いをした方々が、ゆっくりでも前を向いていってくれたらうれしいです。(喜幸さん、和子さん)



### 短歌を心のよりどころに 佐藤成晃さん

震災前から石巻市で短歌教室の講師をしています。女川町で家を流失し、子どもがいる仙台市へ来ました。震災での体験を短歌にしたものを、昨年「歌文集・地津震波」として出版しました。ようやく気持ちが落ち着いてきましたね。



### 自ら動いて生き生きとしていたい 桜井千恵子さん

女川町で祖母の代からの創業100年の旅館をしていました。震災後に移り暮らした泉区では、当初お茶飲みが出来なかったから自分から外に出て初めて地域のことを知ったの。着物やお茶、社会学級など極力動くようにしています。生き生きと過ごしていきたいですね。



### 待望の女孫が生まれました 佐藤成則さん、愛犬のジュリちゃん

次男夫婦に女の子が生まれました。うちの子どもは二人とも男の子だったから女孫が生まれてとてもうれしいね。将来的には子どもの世帯と同居したいと考えているので、戸建てでの再建に向けて歩みを進めています。



### 皆さんに支えられて 左から手島哲さん、晶子さん

津波で理容店と自宅を失って、途方に暮れていたんです。でも、ご縁があって若林区卸町に店を持てましたし、以前のお客さんにも喜んでもらっています。今年中には復興公営住宅へ入居できそうなので、ようやく安心してます。(哲さん)



### 復興はこれから本番です 大友重義さん

今年は震災から5年目になるんですね。若林区種次の方々も自宅をリフォームしたり新築したりで、私も含めかなり戻っています。これから、県道のかさ上げや避難施設など、目に見える事業が増えると、復興が実感できると思いますよ。



### やっと我が家に住めそうです 安達正男さん

仙台市が造成している若林区七郷地区へ、新居を建築する予定です。道のりは長かったですね。荒浜の皆さんと一緒に移転のための協議会に参加して、意見交換やイベントを通じて支え合ってきたことが大きかったですね。



### 子どもたちの笑顔を守り続けよう

左から松田幸雄さん、熊坂勤さん、井上賢一さん、金達也さん

「地域の安全を地域の人たちで守ろう」と、現在9名が宮城野区岡田地区交通安全ボランティアをしています。震災で移転せざるを得ない方もいますが、地域の発展には、明るい子どもたちの笑顔が欠かせません。(井上さん)



### 少し、 未来が見えてきました 館山英子さん

若林区井土浜の静かな暮らしから一転して、プレハブ仮設住宅の生活になり眠れない日もありました。今ではすっかり慣れて、入居者の方々と仲良く楽しくやっています。今年は復興公営住宅に入居予定なので、ようやく落ち着いて暮らせそうです。



### 夢・目標に向かって頑張っています 左から寺嶋花恋ちゃん、庄子ひかりちゃん、庄子さくらちゃん

竹馬を頑張っています。今年は技を覚えたいです。(花恋ちゃん) 接骨院の人になりたいです。そのために勉強を頑張りたいです。(ひかりちゃん) 公務員になって、悔いのない人生を送りたいです。(さくらちゃん)



### 健康で自立した生活を 送りたい 橋間美由紀さん

まだこれからの住まいは決まっていませんが、今後も息子と同居を続ける予定です。同居とはいっても息子に迷惑がかからないよう、自立した生活を送りたいですね。健康に気をつけて、仕事を長く続けていきたいです。

### とても長く感じた4年間でした 左から栗田美智さん、黒田秀美さん

昨年末に再建することができました。半年ほどで家に戻れると思っていたから、本当に長かったです。(栗田さん) 震災の3日前に生まれた孫が、4月で幼稚園に入園します。月日の長さを感じますね。今は孫の成長が楽しみです。(黒田さん)



### 仮住まいで出会った親友です 左から京美智子さん、野村房子さん

今年は泉中央南復興公営住宅に夫婦で移ります。これで一段落つききました。(京さん) 青葉区の川内国家公務員住宅(借り上げ集合住宅)は楽しくて、皆と過ごせて幸せです。復興公営住宅の完成が遅れてもいいと思うほどね(笑)。(野村さん)

読者の皆さんから復興メッセージ  
あの日、今、そして未来へ

三月で東日本大震災から丸四年を迎えます。  
あの日被災された方々が、  
今のお気持ち、そして未来への思いを伝えてくれました。



**生涯現役を目指しています**  
渡辺学さん

ボーリング機械の整備が主な仕事なので、被災後いち早く若林区荒浜の自宅跡へ作業場をつくりました。生まれ育った土地ですから、他の場所に移すつもりはありませんでした。仕事は、まだまだ可能な限り続けるつもりです。

**今後は思い出を  
沢山つくりたい**

尾形きみ江さん

被災時の住まい、東松島市とその周辺の仲間らで被災経験が題材のミュージカルに出演、当事者だからこそ伝えられる喜びがありました。今は故郷の宮城野区蒲生に近い中野の地に夫と移りました。これからの季節は孫たちとの山遊びやキャンプが楽しみです。



**これからも続く  
お茶っこ飲み**

藤澤辰子さん

プレハブ仮設住宅のお茶飲み仲間と同じ復興公営住宅に入居するの。元々の知り合いではないんだけど、なんだか馬が合って、皆毎日のように集まってくるの。きつと復興公営住宅に行ってもお茶飲みは続くんだろうな。



**健康第一で皆が  
過ごせますよう**

鈴木典子さん、  
ひ孫の花ちゃん

故郷の女川町を思って沈んでいたけど、こちらで出来た同じ境遇の仲間たちに励まされたからこそ頑張ってきたと思うの。今は、孫とひ孫が近所に越して来たから、張り合いが出てきたね。健康第一で皆が過ごせれば良いです。



**残った皆で新浜を  
明るくしたい**

平山潤さん

今春、大学を卒業します。学んだ電気工学の知識を活かしたいです。住んでいる宮城野区岡田新浜は小さい頃は活気があり、夏祭りが特に楽しい思い出ですね。地域には震災の記憶が残る人も多いでしょうが、皆で明るく温かい地域にしていければと思います。



**地域に根づく生活を再び**

左から中川明洋さん、蒼依ちゃん、  
誠心くん、愛さん

津波で流された家のローン整理に時間がかかりましたが、我が家ではコツコツ必死にやってきたおかげで解決しました。住宅再建に全力を尽くした実感が欲しかったし、ふるさととなる家を取り戻したい意地もありました。(明洋さん)



**早く自宅に戻れるよう  
頑張りたい**

平山清子さん

宮城野区岡田新浜の自宅は夫が丁寧に修繕しましたが、完全に戻るにはもう少し時間がかかるかな。早く心を落ち着かせて、新浜での暮らしを再開させたい。父親の影響もあり民謡が好きで、今は民謡の会を主宰しています。皆に感謝されるような生き方をしたいですね。

**再建が決まり、ほっとしています**

左から佐藤久子さん、春雄さん

今暮らしている太白区西多賀の皆さんには良くしていただきました。新天地でも西多賀のような温かい環境を皆でつくっていききたいね。(春雄さん) 震災で離れて暮らしていた息子夫婦と、また一緒に暮らせるのが楽しみです。(久子さん)



**願うは、地域の子どもの安全**

左から米山富夫さん、佐藤匡さん、黒澤俊夫さん

おかげさまで、津波被害に遭った家を修繕して家族皆で暮らしています。その感謝と、とにかく子どもたちが安全安心に暮らせる町であってほしい願いがあり、昨春から交通安全ボランティアをしています。(米山さん)

**心温まる交流会に感謝**

左から松野昭次さん、道子さん

復興公営住宅入居後、催しを通して親しい方ができました。催しを主催してくれた支援者の方々のおかげで「人と会い、語る勇気」を出すことができました。集会所が完成したら、住宅の世話人会の皆さんと力を合わせ、サロンを開きたいです。(昭次さん)



**日々、前向きに、積極的に**

千葉登美子さん

息子たちと一緒に青葉区愛子東に家を新築し、気仙沼市から引っ越してきました。地域になじむために積極的に交流サロンやサークルに参加させて頂いています。復興とは前より少しでも良くなっていくことなので、これからも前を向いていこうと思います。



**元気いっぱい  
わんぱく4人組**

左上から時計回りに 松原晴太くん、  
佐藤聖也くん、寺嶋青海くん、  
松原咲太くん

水泳で東京オリンピックに出て金メダルを獲る。(晴太くん) バasketボールで全国大会まで行きたい。(聖也くん) バック転ができるように練習を頑張りたい。(青海くん) 水泳を頑張って選手になりたい。(咲太くん)



**励まされた、友人の存在**  
内田喜美代さん

宮城野区南蒲生で被災したのですが、女学校時代の友人が私の安否を気遣い、探してくれていたことが忘れられません。今は友人10人くらいで行く、年に1度のお泊り会がとっても楽しみなんです。おかげさまで生かされています。

**荒浜を人が集う  
「場」にしたい**

庄子隆弘さん

ふるさと若林区荒浜の将来はどうなるのだろう。そんな思いから始めた活動が「海辺の図書館」です。本の貸し出しだけが図書館ではありません。夢を持って、対話・協働し、自然とふれあい、五感を心で育てる、そんな「場」にしたいなあ。



**夫婦揃って日々を楽しんでいます**

左から千葉喜久子さん、一さん

気仙沼市から青葉区川内国家公務員住宅(借り上げ集合住宅)に入りました。地元商店街の早い復興を祈っています。集会所では週1度行われるカラオケが楽しみです。(一さん) 皆さんと親しくできて本当に幸せです。(喜久子さん)



**ふるさとを誇りに  
歩み続けよう**

川下清一さん

団結力ある宮城野区西原町内会初代会長を、14年間務めたことが誇りです。94歳になった私の元気の秘訣は、毎日「炭坑節」を歌うこと。やがて住む場所が別々になっても、「西原会」みたいなのを設けて皆で集まりたいね。

**居心地の良い関係を  
これからも**

阿部長一さん

道楽で続けている釣りですが、昨年12月に釣れたナメタガレイは、お世話になっている皆さんに差し上げました。今後のことは流れに任せます。避難所や仮設住宅で広ったご縁を、ずっと繋げていけるといいね。



宮城野区



南蒲生住民の寄り合い所  
新集会所が3月完成予定

岡田地区の南蒲生町内会公会堂跡地に、新集会所が間もなく完成します。建坪は約40坪で木造一部2階建て。集会所の使い方や構造は、住民による建設委員会の話し合いで決めました。1階は、町内会の各種団体や住民が日程を調整し合い使用し、2階は、地域の歴史や震災の記録を後世に伝えるための資料館として整備する予定です。

なお同施設は、今年3月に仙台市で開催予定の「国連防災世界会議」に関連する視察先として組み込まれる予定です。

若林区



防災集団移転先宅地の  
引渡しが始まります

防災集団移転先である若林区の六郷地区は、予定通りに工事が進み街区の様子なども分かるようになりました。

六郷地区には、主に藤塚にお住まいだった方が移転される予定で、51区画の宅地が整備されます。

宅地の引渡しは、2015年3月26日から順次始まります。移転を予定している方は、住宅の再建に向けて、市役所からの書類案内に基づき、住宅建築や補助金等に関する各種手続きを進めてください。

「よーっぐかまかして！」  
(太白区・あすと長町仮設住宅)



移動式の調理台が集会所に運び込まれ、料理教室が開催されました。メニューはフルーツサンドともちもちスープ、マロン寒天です。先生の「スープはよくかき混ぜてくださいね」との言葉に、あちこちで「よくかまかしてだってよ!」とお国言葉が飛び交っていました。

太鼓とお餅でわっしょい!  
(若林区・六郷市民センター)



「来ててさいん」おもちと太鼓で思い出ばなし」と題されたこの催しは、東六郷小学校児童による「開宴太鼓」の演奏で始まり、餅つき体験では、初めて杵を振るう子どもたちから歓声が上がりました。ほかにもビデオやスライドを見ながら昔話に花が咲きました。

体を使って皆でワイワイ  
(泉区・泉中央市民センター)



泉区に避難・転入された方と地域の方が参加する泉中央交流カフェ。今回の題目は「カローリング」という、氷上ではなく室内でカーリングを楽しもうと考案されたスポーツです。最初は不慣れだった皆さんですが、終盤には「相手にぶつける!押し出せ!」という声飛び交い、熱戦が繰り広げられました。疲れを知らない皆さん、その後もボール競技を楽しみ、真冬の日を元気に過ごしました。

歌うって気持ちいい  
(泉区・黒松市民センター)



近隣に避難・転入された方を対象に行われた民謡サロン。三味線に合わせて唄う「さんさ時雨」に「どこで息を継ぐのか、難しい」「ああ、ここを伸ばして歌うんだ」と唸りながらも楽しんだ皆さんでした。締めは「大漁唄い込み」。声を出して歌う気持ち良さを再確認しました。

和気あいあいかつ真剣です  
(宮城野区・高砂市民センター)



仙台市から災害危険区域の指定を受けた宮城野区中野4町内のひとつ、和田町内会では、住民の再建の悩みや問題を話し合う場として、2012年4月から3ヵ月ごとに懇談会を開催しています。この日は、仙台市を交えて補助金交付申請手続きなどに関する不明点を解決しました。

サンタさんも応援  
(宮城野区・田子西復興公営住宅集会所)



昨年10月に発足したばかりの田子西町内会主催で、「クリスマス会」が開かれました。ご招待した近隣住宅の方や関係者を含めて、約100名が参加。「敬老会」の意味も兼ねて、子どもたちと保護者、高齢の方が主な参加者です。サンタさんたちも応援に駆けつけました。

どじょう掘いで大盛り上がり!  
(若林区・六郷市民センター)



六郷地区の住民、元住民を対象としたサロン「いぐねおちゃっこの会」。今回、登場したのは、安来節保存会仙台部会の方々です。どじょう掘い踊りの模範演技が終わると演技指導です。手ぬぐいをかぶったお母さんたちが、腰をかがめて登場すると、大歓声と拍手の嵐でした。

高校生の歌声に感動!  
(太白区・福祉施設「こぶし」)



鹿野復興公営住宅にお住まいの方を対象とした交流会が、隣接する福祉施設を会場に開かれました。自己紹介やレクリエーションで参加者の方たちの心と体をほぐした後は、三桜高校音楽部による合唱が披露されました。童謡や歌謡曲を踊りも交えて元気に歌う生徒の皆さんに、参加者の方の目と耳は釘づけ。演奏が終わると涙を流す方もいるほど、会場は感動に包まれました。

音楽のクリスマスプレゼント  
(青葉区・宮城社会福祉センター)



青葉区宮城地区に避難・転入された方を対象にしたほっこりふれんどサロン。今回は(公財)音楽の力による復興センター・東北の協力で「冬のあったかコンサート」を開催。クリスマスソングや懐かしの唱歌などが披露され、地域の方も一緒に心温まるひと時を過ごしました。

皆でゲームを楽しみました  
(太白区・金剛沢前町内会集会所)



借り上げ民間賃貸住宅の方を対象に「年忘れ交流会」が開催されました。ジェスチャーゲームでは捨て身で床に転がる人がいるほどの熱の入りようで、皆さん大盛り上がりでした。ゲームを楽しんだ後は少し早いクリスマスケーキを食べながら交流を深めていました。

みらい編集部  
取材ダイアリー

2014年 2015年  
12月~1月

みらい編集部は、毎日読者の皆さんと一緒にさまざまな催しや出来事に参加し、取材しています。その一部をご紹介します。

公園について皆で考えよう  
(宮城野区・田子西インフォメーションセンター)



宮城野区田子西地区で整備が計画されている3つの公園について、「住民で考え行政に提案しよう」とする取り組みが企業主催で開かれ、親子連れなど約20名が参加しました。実際に公園予定地を見学してから「どんな公園にしたいか」を話し合い、さまざまな提案があがりました。

オライは、ごころあたりがなあ〜  
(若林区・荒井小学校用地仮設住宅)



津波で失われた街を模型で再現する「失われた街」模型復元プロジェクト。主催の神戸大学の学生が、1/500に縮小された荒浜の模型を運び込み、荒浜の皆さんが白い模型に自宅や商店の名前を貼り付けました。「郵便局がここだべ、んだがら、オライは、ごころあたりがなあ〜」

## 小田原エリア (青葉区)



東六コミュニティ・センターで開催されるコミセンまつりは、住民が日頃の成果を発表・展示する人気の催しです



東六地区社会福祉協議会



東六学区民体育振興会



東六コミュニティ・センター



六和功

3年に1度開催の「東六万燈会夏まつり」では、子どもたち手作りの500基近い燈ろうが祭りを盛り上げます



東六地区連合町内会

# これから 住むまち

これから整備される復興公営住宅、防災集団移転促進事業の宅地ができる地域の様子と、地域で交流を楽しむ方々をご紹介します。  
※は防災集団移転促進事業宅地、それ以外は復興公営住宅建設地です。



七郷フレッシュ体操



七郷カフェ



コールブーケ

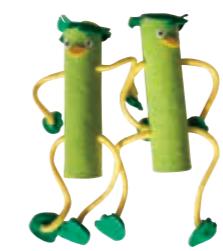


七郷地域包括支援センター

七郷学区民体育振興会



## 助けあいの基盤をもとにつながり育む



七郷児童館は楽しい行事がいっぱい!

荒井エリアを貫く県道一三七号線沿いの七郷・石場両地区に、防災集団移転宅地が整備されています。

七郷地区社会福祉協議会会長の寺嶋昇さんは「先輩たちが築いた助けあいの基盤をもとに、息の長い交流の機会をつくって、支えになればと思います」と語りました。

石場地区のある笹屋敷町内会長の菊地柳秀さんは「氏神様を中心とした祭典が春・秋二回あります。新しく引越された方も、お祭りや盆踊りなどの懇親の場にぜひ加わっていただきたいですね」と話します。

近隣の町内会長たちは「毎年盛り上がる学区民運動会は残していきたいね」と口をそろえました。「小さな集落だけど、学区民運動会で準備したこともあるんだよ」と菊地さんは目を細めます。

七郷・石場両地区の工事の進捗は、七郷地区は一月末現在で造成工事中、石場地区は引き渡し済みです。

## 子どもからお年寄りまで 安心・安全に住める地域

青葉区小田原は、仙台駅の北東側に位置するエリアです。古くから多くの人たちが生活を営む住宅地や、隣接して数多くのお店が建ち並ぶ宮町商店街などがあり、利便性の高さから人気があります。子どもからお年寄りまで、世代を問わず誰もが住みやすい街となっています。

「以前から住民同士の交流は活発ですが、震災後は以前にも増して絆が強くなったと感じます」と語るのは、東六地区連合町内会の今泉清二会長です。

「新たにこの街に入ってくる方たちに地域の素晴らしさをわかかってもらえるように、これからもさまざまなイベントや交流活動を開催し、続けていきたいと考えています。気軽に参加してもらって、誰もが笑顔になれるような街づくりを目指したい」と今後の思いを語ります。

小田原復興公営住宅の工事の進捗は、一月末現在で内装工事中となっています。

### 地域の町内会 & 交流グループなど

- ①東六地区連合町内会 青葉区の花京院から宮町まで、25町内会、約6,000世帯が加入しています。地域の小学校や商店街などと連携しながら、さまざまな交流活動を展開。「東六万燈会夏まつり」や「東六小の桜と音楽を愛する会」など、季節ごとに地域に住む人々が参加できるイベントを開催しています。
- ②東六地区社会福祉協議会 地域の高齢者などを対象としたサロンを、東六地区内の8カ所で開催しています。軽体操や茶話会などを通して、ひきこもりの解消や積極的な交流の促進を目指し活動しています。
- ③東六学区民体育振興会 町内会の方たちが一緒に参加し開催する「東六学区民体育祭大運動会」など、地域の健康促進に尽力しています。
- ④東六コミュニティ・センター 地域の文化交流の場として親しまれています。市民サークルの活動や、地域内外各団体の会合拠点として、特別休館日を除く毎日活用されています。
- ⑤六和功 毎月第1・3火曜日の10:00~11:30、東六コミュニティ・センターで、手ぬぐいやタオルを使った軽体操をしています。誰でも気軽に出来る運動で健康を促進しています。見学も可。問/022-262-9141(千葉)

### 地域の町内会 & 交流グループなど

- ①七郷学区民体育振興会 年間通じて7種目のスポーツ大会を開催し、地域の健康増進と交流に役立っています。同会が運営する学区民運動会は、七郷小・中学校と住民と一緒に開催するため参加人数も多く、毎回たいへんな盛り上がりです。
- ②七郷フレッシュ体操 健康体操サークルです。独自のプログラムで運動不足を解消します。70~80才の参加者が多く、和気あいあいがモットーです。七郷市民センター体育館 月3回火曜日13:30~15:00 問/022-259-0864(斎藤)
- ③七郷カフェ 乳幼児親子向けの交流サロンです。お母さん主体のおしゃべりの場を提供しています。開設2年目で毎回平均10数組の参加があります。問/022-288-8700(七郷児童館)
- ④コールブーケ 女性の合唱サークルです。市民センター企画の行事や合同発表会に向けて練習しています。会員募集中、初心者歓迎です。七郷市民センター 月3回水曜日10:00~12:00 問/022-286-9572(平塚)
- ⑤七郷地域包括支援センター 介護予防運動教室です。下荒井公会堂、藤田公会堂、七郷市民センターが会場。介護予防運動指導員が、自宅でもできる運動メニューを紹介し、問/022-288-7581(矢野)

コールブーケでは、練習のたびに合唱の楽しさと進歩する喜びを実感しています

六郷エリア※  
(若林区)

これから住むまち

茂庭第二  
エリア  
(太白区)

ストックの使用で  
上半身の運動効果アップ▶



①旬菜おとこ塾

先生の包丁さばきや味付けを見習います▲



⑤今泉ダンス愛好会



②六郷ノルディックウォーキングサークル



③六郷地域包括支援センター



④六郷児童館

子どもの歓声ひびく、  
交流盛んなまちづくり

防災集団移転宅地の六郷地区は、仙台南部道路今泉インターチェンジの手前にあります。国道四号線から広瀬川沿いを沖野方面へ東進すると、市街化していく宅地の中にも、昔ながらの景色が残る地域が広がっています。

六郷防災集団移転宅地に最も近い今泉町内会長の石黒康二さんは「六郷地区は藤塚からの移転の方が大半と伺っています。町内にある八坂神社のお祭りや盆踊り、お茶飲み会など、従来通りの行事や活動を続けていく中で、ゆっくり馴染んでいただけるようにしていきたいですね」と話します。

地域交流の場である六郷市民センターの館長高橋重信さんは、「活発なサークル活動がたくさんあり、楽しく過ごすことができます。気軽に足をお運びください」と笑顔で話しました。

六郷地区の工事の進捗は、一月末現在で造成工事中となっています。

地域の町内会 & 交流グループなど

- ①旬菜おとこ塾 男性メインの料理サークルです。男性の一人暮らしを想定した料理を毎回皆で作ります。震災直後は冷蔵庫内の残り物を持ち寄り、創意工夫で美味しい料理をつくったりしました。問/022-289-5127(六郷市民センター)
- ②六郷ノルディックウォーキングサークル 2本のストックを使って歩行運動するサークルです。通常は今泉清掃工場あたりまで歩きます。泉ヶ岳、台原森林公園、青葉山への遠征もあります。第2・4土曜日10:00~12:00六郷市民センター集合 問/022-285-0495(田中)
- ③六郷地域包括支援センター 各町内会、民生委員と連携して高齢者の健康維持のため、介護予防教室を月2回実施しています。10:00~11:30 問/022-289-2111(六郷地域包括支援センター)
- ④六郷児童館 小学生向けの体を動かす遊びや読み聞かせ、自由参加の乳幼児親子向け交流サロンなど定例行事をはじめ、充実したプログラムが満載です。問/022-289-5138(六郷児童館)
- ⑤今泉ダンス愛好会 社交ダンスの愛好会です。初心者歓迎します。特に発表会はありませんが、個々にパーティなどで踊っています。モダン〜クラシック織り交ぜ和気あいあいと楽しんでいます。六郷市民センター毎週日曜日18:00~20:00 問/022-289-4561(鯨岡)

各復興公営住宅の立地や間取りなどの情報は「平成26年度復興公営住宅情報」(仙台市都市整備局復興公営住宅室発行)でご確認ください。冊子をご覧になりたい方は、下記にお問い合わせください。  
問い合わせ/仙台市都市整備局復興公営住宅室 022-261-1111(代)

日本民謡声水会では、  
軽快な三味線の音に合わせながら、  
皆で楽しく民謡を唄います▶



⑦日本民謡声水会・茂庭台支部



①茂庭台学区町内会連合会



②茂庭台地区社会福祉協議会



④茂庭台大学



③茂庭台児童館

介護福祉施設が充実する  
太白山麓の自然豊かな街

自然豊かな生田盆地に隣接する茂庭第二エリアは、近くに国道二八六号線や県道仙台南村田線のほか、東北自動車道仙台南インターチェンジがありアクセスは良好。復興公営住宅が建設される団地内には、小中学校や市民センターも整備され、静かな住環境と暮らしやすさが共存する魅力ある街です。

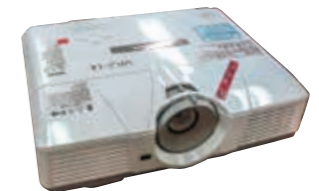
「比較的高齢者が多い街ですが、住民は皆元気で活き活きと暮らしています。最近では介護施設や老人福祉施設などが次々と増えています。福祉の街という側面もあります」と、茂庭台学区町内会連合会の山口強会長は話します。

「地域や小中学校とも連携を取りながら、地元を盛り上げていきたい。住民同士が活発に交流することで、今以上に魅力あふれる街にしていければ」と、これからの展望を語ってくれました。

茂庭第二復興公営住宅の工事の進捗は、一月末現在で設計が完了。二〇一六年三月完成予定です。

地域の町内会 & 交流グループなど

- ①茂庭台学区町内会連合会 茂庭台団地を中心に、7町内会、約2,000世帯が集まり活動しています。新年会や夏まつり、敬老会にどんと祭、防災訓練など地域での交流を活発に行っています。
- ②日本民謡声水会・茂庭台支部 毎月第2・3金曜日の14:00~16:00、茂庭台市民センターで活動しています。皆と一緒に全国各地の民謡を練習します。初心者も大歓迎。見学も気軽にできます。問/090-5838-1060(菊地)
- ③茂庭台地区社会福祉協議会 地域に住む高齢者の見守り活動のほか、年に数回サロンを開催。茂庭台児童館との共催による地域の子もたちとの交流なども行っています。
- ④茂庭台大学 年間を通じて茂庭台市民センターで開催している老壮大学です。心身ともに健康で実り豊かな生きがいのある人生を送るため、多彩なテーマで学習しています。毎年、年度の初めに参加者を募集しています。問/022-281-3293(茂庭台市民センター)
- ⑤茂庭台児童館 乳幼児の親子活動を支援する「もにママサロン」など、地域の子もたちの健全育成を目的に、子どもから大人まで対象にしたさまざまな事業を行っています。問/022-281-3293(茂庭台児童館)



茂庭台大学では、  
プロジェクター上映による  
映画鑑賞会なども開催  
されています

# 旭ヶ丘サロン



「旭ヶ丘サロン」は、青葉区の旭ヶ丘市民センターで、二〇一一年十二月から月に一回開かれています。主催は支えあいセンターあおば。仙台市内や気仙沼市などから旭ヶ丘近郊に避難・移転した方々が、毎回十人ほど集まいます。

一月のサロンでは、ゆったりとした音楽に合わせて、皆で体操を行いました。体を温めた後は、恒例の茶話会です。和気あいあいとししゃべりを楽しんでいました。

泉区に住んでいた鈴木信子さんは、東日本大震災で自宅が倒壊したため、転居を余儀なくされました。「ここに来ると新しい友だちができるので、とてもありがたいです」と鈴木さん。サロンが、新たなつながりを生みむきかけになっているようでした。

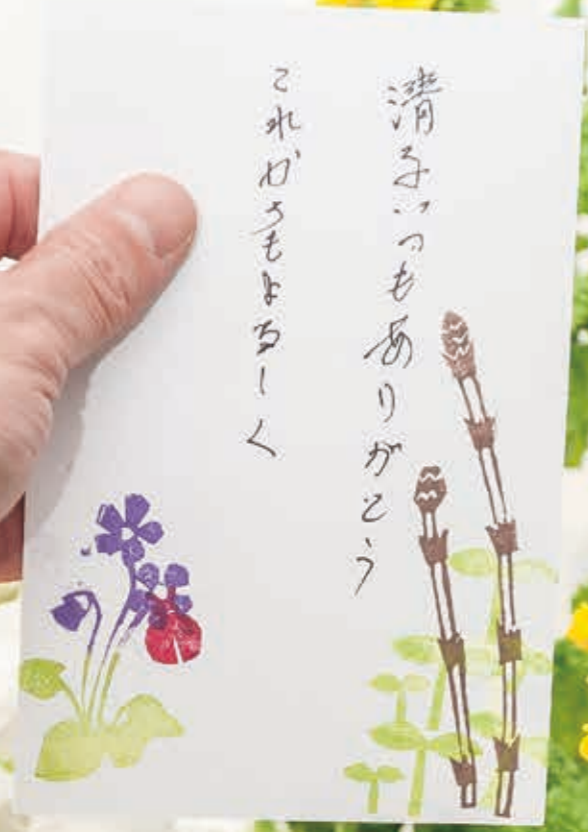
◆連絡先 ○二二(二二七)七三三四(支えあいセンターあおば)、開所時間…八時三十分～十七時(月～金曜日)

取材：大島湧未@東北福祉大学  
情報ボランティア@仙台 ブログでも発信中です。https://kacco.kahoku.co.jp/author/volunteer16(「河北新報オンラインコミュニティ」ブログ)

前略  
お元気  
ですか

## 舘山政四郎さん

まさしろ  
からのお便り



清子ちゃんもありがどう  
これからもよろしく

## クロスワードパズル

出題 石田竹久  
こたえ A B C D

1	2	3	4	
5		6	B	
			7	8
	9	10		
11				12
		13	14	
15			16	
D				

- タテのカギ**
- 春を告げる新緑など、四季折々の美しさを見せる仙台市のシンボルといえる川、○○○川
  - 野球の投手が無安打無得点に抑えるのは、ノーヒット・ノー○○
  - うれしいことが重なるのは、○○と正月が一緒に来たよう
  - 仙台市の花は萩、市の木は○○○
  - 皆既食に対して、太陽や月の一部が欠けるのは、○○○食
  - 春、夏、○○、冬
  - 相撲で四つに組んだ時、相手の腕の外側から回しを取ることを
  - 仙台市で鍋料理の定番といえば、根っこまでおいしくいただく、○○鍋
  - 3月14～18日、仙台国際センターにおいて、国連防災○○○会議が開かれます
  - 仙台東照宮には、本殿や花崗岩で造られた石○○○など、国の重要文化財が複数あります
  - バスケットボールで、ジャンプしてリングの上からボールを叩き込むのは、○○○シュート
  - 仙台○○の杜水族館が、高砂中央公園内に7月オープン予定です
  - 仙台市の姉妹都市のひとつであるメキシコのアカプルコ。仙台市との○○は15時間です

- ヨコのカギ**
- 300年以上の伝統を誇る絹織物、仙台○○は国の重要無形文化財
  - 仙台市出身の漫画家、荒木飛呂彦氏の代表作といえば、「ジョジョの奇妙な○○○」
  - 東北大学出身でノーベル賞化学者の田中耕一氏が、同大学の卒業○○○で研究テーマとしたのは、「テレビ電波ゴースト防止」
  - 「日本三御湯」とも「奥州三名湯」とも謳われる、太白区の○○○温泉
  - 仙台市と石巻市とを結ぶJR○○○線は、5月30日に全線開通の予定です
  - 仙台市の虫はスズメシ、市の○○はカッコウ
  - 仙台藩初代藩主にして仙台城を築いた、○○政宗
  - 初めて臨む戦い
  - ベガルタ仙台の本拠地、ユアテックスタジアム仙台の最寄駅は、地下鉄南北線の○○○中央駅
  - 春になれば、お花見の季節。西公園や三神峯公園など、○○○の名所は数多くあります

前回のこたえ

A ハ B ツ C ハ D ル

でした。

1	ガ	ン	キ	ヨ	ウ	マ	ル	チ
2	ハ	ハ	シ	マ	イ	イ	ル	チ
3	ク	ナ	メ	ナ	イ	ロ	ハ	エ
4	ミ	ナ	ツ	キ	ン	ン	ハ	エ
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								

今回のこたえは9ページです。

キヨコ、いつもありがどうな。身近な相手に便りを出すのは、ジイちゃん、ちょっと照れくさいなあ。

あの津波で女房と娘を亡くした俺は、プレハブ仮設住宅の狭い部屋で、毎日ぼつんと、仏壇の前に座っていたよ。そんな時に、キヨコが子どもと一緒に遊びに来てくれて、本当に助かったんだ。足の病気で大学病院に入院していた時も、洗濯物や身の回りの世話を焼いてくれたな。いやーうれしかった。何しろ、台所に立ったこともない、家事は全部女房任せの俺だったからな。

キヨコは弟の娘だから姪っ子だし、子どもたちも本当の孫ではないけれど、ジイちゃん、ジイちゃんって呼ばれると、俺も本当のジイちゃんになった気がするよ。

まだ、手術の傷が治らないけれど、心配しなくてくれ。また、ちゃんと歩けるように頑張るよ。キヨコも、子育てに仕事に大変だろうけど、体に気をつけてな。

お便りを  
受け取った  
東海林清子 さんより

ジイちゃん、私の方こそお礼を言わなくちゃね。まるで、本当の子や孫のように可愛がってくれてありがどう。ジイちゃんの弟、私の父を亡くしてから、その存在の大きさに気づいたの。だから、ジイちゃんにはいつまでも元気できて欲しいよ。また遊びに行くね。



すべて自家製の手づくりおやつ

# 「焼きおにぎり」

ふるさとに  
ごっつおさん

我が家で受け継がれてきた  
郷土の味、紹介します。



## 材料・レシピ

### 材料(4人分)

- ごはん 3合
- 味噌 大きじ2
- 砂糖 大きじ1 (味噌の塩加減により調整)

### つくり方

- すり鉢に味噌と砂糖を入れ、味噌の粒をすり潰しながら混ぜ合わせる(こし味噌なら混ぜるだけで可)
- ごはんを8等分にして小さめにおにぎりを握り、焼き網に乗せて焼く
- 表面に焦げ目がついたら網からあげ、1の合わせ味噌をおにぎり全体に塗る
- おにぎりを網に戻し、表面に焼き色がついたら完成

農業が盛んな若林区三本塚では、かつて稲刈り後の水田で大豆や麦を育て、多くの家庭で味噌を手づくりしていました。「家の敷地内の日陰で風通しのいいところに味噌小屋があって、農作業のない冬に味噌を仕込んでいたのよ」と話してくれたのは、三本塚で生まれ育ち、現在も三本塚にお住まいの大友よし子さんです。甘いものが貴重だったころ、幼い大友さんのおやつ代わりだったのが焼きおにぎりでした。「農家だから米もあるし、味噌もあったからね」と大友さん。昔はおやつだったという大友さんがつくる焼きおにぎりは小さめ。今はごはんが余った時や、献立が豚汁の時によくつくっているそうです。「男孫が大好きでね、美味しいって食べてくれるの」と、うれしそうに笑います。最後に大友さんは「味噌を塗った後のおにぎりは焦げやすいから炙る程度にね。焼き網を十分温めてから焼くと、おにぎりが網にくっつきづらくなるよ」と教えてくれました。